

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第49号（6. 2. 7） 神戸市立幼稚園の存続を求め、神戸の幼児教育と子育て環境の改善を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神戸市立幼稚園を存続させること。</li> <li>2. 早急に全園で3年保育を実施すること。</li> <li>3. 3歳児の定員を撤廃すること。</li> <li>4. 入園希望者が通園しやすい通園環境を整備すること。</li> <li>5. 預かり保育時間を延長すること。</li> </ol>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 神戸市立幼稚園の存続を求める会 代表 横山 卓司 ほか1名 その他署名者あり(申告数21932名)</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

陳情者

住所 神戸市中央区

神戸市立幼稚園の存続を求める会

氏名 代表 横山 卓司 (電話 )

津村 謙二 (電話 )

「神戸市立幼稚園の存続」を求め 希望するすべての神戸の子供の3歳児就園を！

～神戸の幼児教育と子育て環境の改善を求める陳情～

【陳情趣旨】

多くの神戸の子供たちは、就学までの間、認定こども園や公私立の保育所・園、幼稚園に通園しています。幼稚園に入園を希望する際、特色ある教育を望んで私立幼稚園や認定こども園を選択すると3歳から入園できます。それに対し、スタンダードな幼児教育を希望して、市立幼稚園を選択する場合は大半が4歳児からしか入園できません。

発達には個人差がありますが、3歳から就学までは以下のように育っていきます。

★友達や先生と触れ合っ一緒に過ごすことで安定し、興味関心を広げていきます。

★友達とのやりとりを通して楽しいことや、うまくいかないことを味わいながらかわりを広げていきます。

★主体的に遊ぶ中でみんなで協力してやり遂げたり、充実感を味わったりすることで意欲が育ちます。

★成長した喜びや自信が、小学校生活への期待につながります。

3歳児から入園すると、3年間の緩やかな流れの中で子供たちを育てることができます。しかし、4歳児からの入園では2年間しかありません。

市立幼稚園の園児が減少しています

- ① 現在、市立幼稚園32園中、3年保育を実施しているのは9園のみです。保育料無償化で3年保育が主流になっているにもかかわらず、未だ2年保育の幼稚園が大半を占めているのが現状です。昨今の保護者のニーズからはかけ離れており、2年保育という時点で、多くの保護者の幼稚園入園の選択肢から外れてしまっています。
- ② 3年保育実施園の3歳児は各園1クラスとし、1クラス定員は25名（淡河好徳幼稚園においては15名）と決められており、希望者全員が入園することができません。
- ③ これまでの度重なる統廃合で園区が広がり、徒歩や自転車での通園が困難な幼稚園が増えてきています。
- ④ 預かり保育を毎日実施していますが、最長16時半までと、フルタイムで働く保護者にとっては十分な預かり時間とは言えません。

このたび「今後の幼児教育・保育における市立幼稚園について（方針）」案で13園の閉園が示され、今後更に、概ね各区1園に集約化することを見据えた再編が検討されています。神戸市全体の幼児教育の質向上の役割を担うこと、市立幼稚園の保育を望む子供の入園を保証するために以上のことを解消し、神戸市立幼稚園の存続を強く要望します。

## 神戸市立幼稚園の“良さ”“役割”とは

- ・ 広い敷地とのびのび遊べる環境の中、直接体験を大切にし、豊かな学びや育ちにつなげます。幼児期の豊かな経験は人格形成の土台となり、小・中学校での学びにつながります。
- ・ 近隣の小・中学校や地域と連携を図り、地域ぐるみで幼児を育てています。
- ・ 学び続ける専門性の高い経験豊富な教員が勤務しています。
- ・ 一人一人の幼児に寄り添った保育を行い、保護者の悩みや子育ての相談に丁寧に対応します。

陳情事項

を求め、<sup>活かすために</sup>

~~よって~~私たちは神戸市立幼稚園の存続に~~あたり~~、以下のことを陳情します。

### ~~【陳情事項】~~

- ① 早急な全園3年保育の実施
- ② 3歳児の定員撤廃
- ③ 入園希望者が通園しやすい通園環境の整備
- ④ 預かり保育時間の延長

署名提出あり: 申告数 21,932 筆